

ふるさと食材伊万里の日

きゅうり

今月のふるさと食材伊万里の日はきゅうりについて紹介します。

きゅうりはどのように育つの？



給食にもよく登場するきゅうり。

私たちにとって、とても馴染み深い野菜の一つですね。

そんなきゅうりですが、みなさんはきゅうりがどのように育つのか知っていますか？

これは、きゅうりの花です。黄色い可愛い花をつけます。

この黄色い花の後ろをよく見てみると・・・

花の後ろには小さなきゅうりが!



赤く丸で囲んだところに、小さなきゅうりのようなものがあるのわかりますか？

きゅうりには、おすの花とめすの花があります。これはめすの花です。おすの花の花粉がめすの花につくことを受粉といいます。この受粉がおこると、めすの花の後ろにあるこの小さなきゅうりが大きく育ちます。



先ほどのまだ小さかったきゅうりはこのように大きく育ち、収穫の時期を迎えます。

～波多津町 生産者の富永さん～



こちらは、波多津町できゅうりを栽培されている生産者の富永さんです。
きゅうりを栽培する中で大変なことについてお話を伺いました。
きゅうりの苗は、大きくなると、どんどん枝を上には伸ばして成長します。
枝が上には伸びすぎてしまうと、きゅうりが高い所になってしまい、収穫するときに手が届かなくなります。
手が届く高さで、たくさんのきゅうりが収穫できるように、上には伸びる枝を目線の高さほどに整える作業がとても大変だと話してくださいました。
生産者の方はたくさんの苦勞をしながらおいしいきゅうりを育てられています。
感謝して食べるのが大切ですね。



**伊万里でとれた美味しい
きゅうり！
味わって食べてくださいね**

きゅうりがどのように育つのかや、生産者の方の苦勞を知ることはできましたか？

今日の給食では、伊万里でとれたきゅうりを使って「たたききゅうり」を作りました。

きゅうりは水分をたっぷり含み、体の熱を冷ましてくれると言われており、暑い夏の栄養補給にぴったりの野菜です。

ぜひ、伊万里でとれた美味しいきゅうりを味わって食べてくださいね。